



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 四国化成ホールディングス株式会社
コード番号 4099 URL <https://www.shikoku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 充範
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理担当 (氏名) 安藤 慶明 (TEL) 0877-22-4111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	52,999	13.3	7,555	23.3	7,884	6.4	6,764	3.7
2023年12月期第3四半期	46,789	—	6,129	—	7,413	—	6,520	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 6,334百万円(△16.5%) 2023年12月期第3四半期 7,584百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	145.59	—
2023年12月期第3四半期	125.54	—

当社は、2022年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、経過期間である前々連結会計年度は第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	129,330	81,150	62.1
2023年12月期	131,046	86,867	65.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 80,378百万円 2023年12月期 86,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2024年12月期	—	25.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	7.7	8,200	2.2	9,500	2.4	7,900	0.6	171.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 3 Q	44,869,563株	2023年12月期	50,760,663株
② 期末自己株式数	2024年12月期 3 Q	176,904株	2023年12月期	176,415株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 3 Q	46,460,222株	2023年12月期 3 Q	51,942,228株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株式相場や為替相場の乱高下の中でも、賃上げの浸透や自動車生産の回復を背景とした堅調な個人消費に支えられ、緩やかな持ち直しの動きが続いています。海外経済は、米国では良好な雇用環境の下で依然として景気拡大を続けていますが、一方で中国経済は各種経済政策の効果が十分に現れず、停滞が続いています。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）の当社グループの売上高は529億99百万円（前年同期比13.3%の増収）、営業利益は75億55百万円（前年同期比23.3%の増益）、経常利益は78億84百万円（前年同期比6.4%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67億64百万円（前年同期比3.7%の増益）といずれも前年を上回りました。

化学品事業の海外市場での販売が好調に推移し、売上高及び営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも過去最高を記録しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、海外市場での拡販により前年を上回りました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素も輸出版売が好調で、前年を上回りました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝も価格転嫁を進め、前年を上回りました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤塩素化イソシアヌル酸は、国内市場は家庭用サニタリー向けなどが堅調に推移し前年を上回りました。米国市場も、良好な景気や天候を背景に、市況は堅調に推移し、前年を上回りました。

（ファインケミカル）

電子化学材料では、プリント配線板向け水性防錆剤タフエースは半導体・エレクトロニクス市場の回復基調が継続し、前年を上回りました。密着性向上プロセス GlicAPもサーバー基板向けで採用案件が増加し、順調に推移しました。

機能材料では、エポキシ樹脂硬化剤（イミダゾール類）や樹脂改質剤（グリコールウリル誘導体等）が市況回復を受けた輸出版売の増加などにより前年を上回りました。半導体プロセス材料も顧客評価の進展とともに、新規試作案件の獲得が進みました。

この結果、化学品事業の売上高は384億91百万円（前年同期比19.9%の増収）、セグメント利益は、66億95百万円（前年同期比39.7%の増益）といずれも前年を上回りました。

②建材事業

建設コスト高騰などの影響で持ち家を中心に新設住宅着工戸数の減少傾向が続き、住宅向け需要が落ち込む中で、当社の強みである非住宅分野向け景観エクステリアの拡販に取り組みましたが、販売は前年を下回りました。またアルミ地金を始めとする原材料価格も高騰しており、収益性が悪化しました。

この結果、建材事業の売上高は137億14百万円（前年同期比1.5%の減収）、セグメント利益は6億30百万円（前年同期比40.8%の減益）となりました。

〔参考情報〕

【海外売上高】

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	4,203	9.0	6,158	11.6
北米	11,716	25.0	14,381	27.1
その他の地域	1,305	2.8	1,415	2.7
合計	17,226	36.8	21,955	41.4
連結売上高	46,789		52,999	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

財政状態は、総資産は、前連結会計年度末比17億15百万円減少し、1,293億30百万円となりました。主な増加は、投資有価証券30億96百万円、有価証券12億0百万円、主な減少は、現金及び預金60億27百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比40億1百万円増加し、481億79百万円となりました。主な増加は、長期借入金32億93百万円、1年内返済予定の長期借入金21億8百万円、主な減少は、未払法人税等14億45百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比57億17百万円減少し、811億50百万円となりました。主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が67億64百万円計上された一方で、剰余金の配当18億29百万円を実施したこと、及び自己株式102億22百万円を取得したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の65.7%から62.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、直近公表の計画(2024年7月30日発表)を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、150円/米ドル、160円/ユーロと想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,947	23,920
受取手形	589	391
電子記録債権	3,021	3,008
売掛金	13,907	14,369
有価証券	17,505	18,705
商品及び製品	8,947	8,213
仕掛品	37	56
原材料及び貯蔵品	4,400	4,384
その他	1,278	905
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	79,631	73,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,926	6,181
機械装置及び運搬具（純額）	6,648	6,652
土地	8,693	8,798
建設仮勘定	3,446	3,754
その他（純額）	645	735
有形固定資産合計	25,360	26,122
無形固定資産	699	616
投資その他の資産		
投資有価証券	21,844	24,941
繰延税金資産	1,909	1,992
退職給付に係る資産	532	549
その他	1,070	1,157
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	25,355	28,640
固定資産合計	51,415	55,379
資産合計	131,046	129,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,940	7,496
電子記録債務	523	600
短期借入金	3,530	5,530
1年内返済予定の長期借入金	5,783	7,891
未払費用	1,476	1,899
未払法人税等	2,696	1,250
未払消費税等	558	157
設備関係支払手形	4	1
設備関係電子記録債務	84	257
その他	3,097	2,553
流動負債合計	26,694	27,638
固定負債		
長期借入金	12,906	16,200
繰延税金負債	2,191	1,970
再評価に係る繰延税金負債	998	998
役員退職慰労引当金	64	67
退職給付に係る負債	591	543
資産除去債務	370	371
株式給付引当金	43	65
その他	317	324
固定負債合計	17,483	20,541
負債合計	44,178	48,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,711	5,711
利益剰余金	66,077	60,802
自己株式	△226	△238
株主資本合計	78,430	73,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,044	4,534
土地再評価差額金	2,274	2,274
為替換算調整勘定	252	255
退職給付に係る調整累計額	155	170
その他の包括利益累計額合計	7,726	7,234
非支配株主持分	710	772
純資産合計	86,867	81,150
負債純資産合計	131,046	129,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	46,789	52,999
売上原価	29,063	32,055
売上総利益	17,726	20,943
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,138	4,874
広告宣伝費	572	720
給料	1,786	2,018
退職給付費用	113	98
役員退職慰労引当金繰入額	8	12
研究開発費	1,300	1,286
その他	3,676	4,377
販売費及び一般管理費合計	11,596	13,388
営業利益	6,129	7,555
営業外収益		
受取利息	170	215
受取配当金	335	305
為替差益	769	—
雑収入	47	22
営業外収益合計	1,323	544
営業外費用		
支払利息	25	47
為替差損	—	150
寄付金	10	10
雑損失	4	6
営業外費用合計	39	214
経常利益	7,413	7,884
特別利益		
投資有価証券売却益	2,088	1,895
補助金収入	73	58
負ののれん発生益	32	—
特別利益合計	2,194	1,953
特別損失		
固定資産除却損	53	20
投資有価証券売却損	16	87
特別損失合計	69	108
税金等調整前四半期純利益	9,537	9,730
法人税等	3,013	2,903
四半期純利益	6,524	6,826
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,520	6,764

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	6,524	6,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	821	△509
為替換算調整勘定	228	3
退職給付に係る調整額	9	15
その他の包括利益合計	1,059	△491
四半期包括利益	7,584	6,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,580	6,272
非支配株主に係る四半期包括利益	3	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月28日、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式5,891,100株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が10,221百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2024年2月28日、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、2024年3月8日付で、自己株式5,891,100株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が10,209百万円、自己株式が10,209百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
無機化成品	9,999	—	9,999	—	9,999	—	9,999
有機化成品	15,263	—	15,263	—	15,263	—	15,263
ファインケミカル	6,840	—	6,840	—	6,840	—	6,840
壁材	—	947	947	—	947	—	947
エクステリア	—	12,971	12,971	—	12,971	—	12,971
その他	—	—	—	747	747	—	747
顧客との契約から生じる収益	32,103	13,918	46,022	747	46,769	—	46,769
その他の収益	—	—	—	19	19	—	19
外部顧客への売上高	32,103	13,918	46,022	767	46,789	—	46,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	2	8	209	217	△217	—
計	32,109	13,921	46,030	976	47,006	△217	46,789
セグメント利益	4,792	1,066	5,858	73	5,932	197	6,129

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額197百万円は、事業セグメントに配分していない損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
無機化成品	11,180	—	11,180	—	11,180	—	11,180
有機化成品	17,947	—	17,947	—	17,947	—	17,947
ファインケミカル	9,364	—	9,364	—	9,364	—	9,364
壁材	—	919	919	—	919	—	919
エクステリア	—	12,794	12,794	—	12,794	—	12,794
その他	—	—	—	775	775	—	775
顧客との契約から生じる収益	38,491	13,714	52,206	775	52,981	—	52,981
その他の収益	—	—	—	17	17	—	17
外部顧客への売上高	38,491	13,714	52,206	792	52,999	—	52,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	2	7	204	211	△211	—
計	38,497	13,716	52,213	997	53,210	△211	52,999
セグメント利益	6,695	630	7,325	86	7,412	142	7,555

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額142百万円は、事業セグメントに配分していない損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	2,467百万円	2,219百万円